

しゅんせつ  
たのしい春節

丁丁／作 梁琨／絵 [日本]籠川 可奈子／翻訳



朝華出版社  
BLOSSOM PRESS

しゅんせつ

春節は、きゅうれきのしんねんの1にちめです。

ゆきがふる、きたのほうでも、あたたかい、みなみのほうでも、かざりつけをして、  
ふるい年としをおくり、あたらしい年としをたのしくむかえます。









しゅんせつ

春節のまえ、イーイはシンガポールから、おじいさん、

おばあさんがいる北京ぺきんにきました。

おとうさんとおかあさんは、おおそうじ。

イーイはおばあさんと、<sup>ついでん</sup>対聯やさかさまの「<sup>ふく</sup>福」をはりました。



「もうすぐ、ししまいがくるよ」と、おばあさん。

「どうして、しんねんには、ししまいがくるの？」と、イーイ。

「えんぎがいいからね。ししはつよいから、あたらしいねん、おだやかに<sup>+</sup>過ごせるように、まもってくれるよ。いつでもそばにいて、たすけてくれるよ」

イーイはむねをはって、「わたしも、ししをたすけるよ！」と、いいました。





しゅんせつ

春節むいかめのあさ、

ぼくちくやドラがなりました。





「ししまいがきた！」  
こどもたちが、はしって、  
しらせます。



みんな、みやすいぼしよで、  
ししまいをまちます。



「ドンドンジャン、ドンドンジャン！」

ドラにあわせ、ししがおどります。

「みろ！ ししが、やさいをとるぞ！」

「とびあがったわ！」

「たべた！」





かつさいが、あがります。

ししが、みかんとおとしだまをくわえて、  
みかんのかわをはきだしました。

おおきなはくしゅが、おこりました。

みんないなくなって、イーイは、じめんにおちた、みかんのかわをひろいました。  
リーダーのししが、やってきて、「ありがとう！きみはだれ？」  
イーイは、「どういたしまして。イーイだよ」と、こたえました。





「イーイ、としこしは、なにをしたの？」

「いろんなことをしたよ！」

イーイは、じめんをさしながら、「いしけりできる？あそびながら、はなそうよ」

「いいよ！いっしょにあそぼう」と、ししはうなずきました。

「みて！みかんをいちばんとおくに、おいたよ。イーイがしゅんせつ春節にしたことを1つはなしたら、ぼくが1つすすむ。みかんのところまで、いけるかな？」



「しつもん！ ようちえんでは、どうしゅんせつ春節をいわうの？」

「シンガポールでは、チャイナドレスをきて、クラスメートと『はるのドラとたいこ』をおどるわ」

「それから、みかんをもって行って、ともだちと、こうかんするの」

「そう、むかしのおかねにに似ているみかんは、めでたさや、ゆたかさのシンボルだね」と、ししがほそくしました。



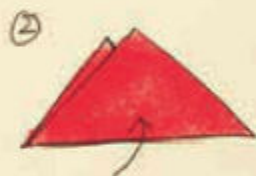
「ようちえんで、としこしのかざりを、つくったかな？」

「うん！『春』の字をきりがみでつくって、まどにはったり、かべにかけたりしたよ。

りったいのカードもつくったの」と、こうふんぎみに、イーイはいいました。



1. はさみ、ふで、せいほうけいのかみを、よういします。  
しゅんせつ  
春節には、あかいかみを、よくつかいます。



2. たいかくせんにとって、  
おります。



3. ふでで「春」をはんぶんかきます。



4. もじにそって、  
きります。



5. ひらくと、かんぜんな  
「春」のできあがり。

